

(1) 蓄電池システム

アグリゲーター（事業者名）	担当部署	連絡先アドレス	DR実証の概要等	備考
株式会社Shizen Connect	オペレーション部	der@shizenenergy.net	2022年に発生した「電力需給ひっ迫」が再び発生した場合に備え、電力供給が不足すると想定してアグリゲーターである当社が遠隔で蓄電池の放電制御を行います。また、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーが余ってしまい出力を停止しなければならないことを想定し、遠隔で蓄電池の充電制御を行います。	
東京ガス株式会社	BTMソリューションプロジェクト部	drv-der-info@tokyo-gas.co.jp	https://home.tokyo-gas.co.jp/housing/eco_equipment/solar_battery/igniture_battery.html	
シャープエネルギーソリューション株式会社	セールスプロモーション開発部	sharp_DR_battery@sharp.co.jp	①東京電力管内で、電力需給ひっ迫注意報/警報が発令された場合、遠隔で、お客様宅の蓄電池システムの運転モードを「クリーンモード（夜間充電なし）」に変更する制御を行います。注意報/警報が解除されましたら、遠隔で、制御開始前にお客様が使っておられた運転モードに戻します。対象期間は、「東京都助成金の交付決定日から交付決定日の翌年度末まで」です。 ②遠隔で、お客様宅の蓄電池システムの充放電制御を行います。制御終了後は、遠隔で、制御開始前にお客様が使っておられた運転モードに戻します。 ※制御日に関しましては、COCORO ENERGYより、お客様へ事前に連絡いたします。	
株式会社NTTスマイルエナジー	事業推進部	dr@nttse.com	常時、蓄電システムを自家消費モード（グリーンモード）での運用を行っていただき、2026年3月31日まで、電力需給ひっ迫注意報、電力需給ひっ迫警報が発令された際や国からの節電要請があった場合に当社がDR（蓄電池の充放電制御）を行うこと、2026年3月31日まで、当社が独自に実施する実証に関わり、DR（蓄電池の充放電制御）を行うことに同意いただき、協力いただく	
NextDrive株式会社	プロダクトソリューション事業部	agr-tm@nextdrive.io	https://agr-tm.scrollhelp.site/tmagr-home/	
株式会社東急パワーサプライ	スマートグリーン事業本部	https://www.tokyu-ps.jp/support/inquiry/	「てるまるでんちプロジェクト」 平常時は遠隔制御にて経済DR（安値時間帯に充電、高値時間帯に放電）を実施し、電力需給ひっ迫に関する情報が発令された場合には当該時間帯に放電を実施します。	プロジェクトのお申込みおよび対象の機器確認はこちら https://www.tokyu-ps.co.jp/campaign/1000battery/?auid=300CNT

(2) 家庭用燃料電池

アグリゲーター（事業者名）	担当部署	連絡先アドレス	DR実証の概要等	備考
東京ガス株式会社	設備ソリューション事業部	enefarm_dr@tokyo-gas.co.jp	お客さま宅に設置頂いたエネファームを、ネットワーク機能を活用することで遠隔制御します。特定時間帯に複数台のエネファームを同時に発電させることで、今後発生可能性が高まる電力需給ひっ迫注意報/警報に対するエネファームの貢献価値を検証致します。	